



ワイヤレスグラッツ WX取扱説明書



最初に
ご確認ください

MA-WG7シリーズ

マウス本体	1台
直付けレシーバー	1台
充電ケーブル	1本
単4充電電池	2本
取扱説明書	1部

本取扱い説明書の内容は、予告なしに変更になる場合があります。
最新の情報は、当社Web(<http://www.sanwa.co.jp/>)をご覧ください。

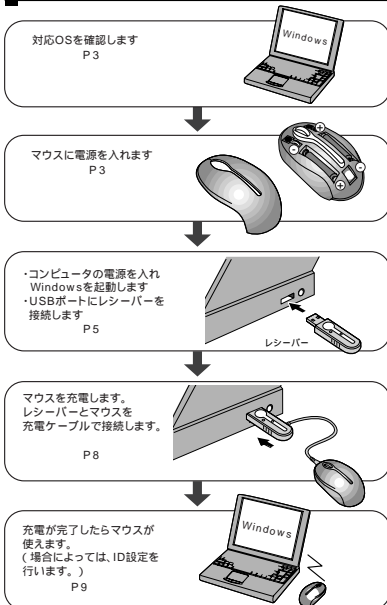
デザイン及び仕様については改良のため予告なしに変更することがございます。
本書に記載の社名及び製品名は各社の商標又は登録商標です。

サンワサプライ株式会社

目次

1	ワイヤレスマウスの接続手順
2	特長
	警告
	・テレビ/ラジオの受信障害について 注意
3	対応機種・対応OS
	・対応機種 対応OS
4	マウスの準備(電池の入れ方)
	マウスの接続(USB接続の場合)
	・本製品をUSBポート接続する際の注意(Windowsの場合)
	・BIOS上でUSBがdisable/セイブル(無効)になっている場合Windowsの場合)
	マウスの接続(USB接続の続き)
5	・USBポートによる接続(Windowsの場合)
	・USBポートによる接続(Mac OS Xの場合)
8	マウスの接続(電池の充電)
9	IDの設定方法(場合により設定)
10	本製品の使用方法
	・左ボタン・右ボタン ホール(スクロール)
	・ホールボタン(スクロールボタン) スムーズ ご使用上の注意
11	・Windows Meで本製品をお使いになれる場合
	・Windows Me/98SE/98でご使用の場合
	「故障かな...と思ったら」
12	保証規定

ワイヤレスマウスの接続手順



詳細は各ページをご覧ください。

特長

今回は、ワイヤレス グラッツ WXをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。本製品はRF方式のワイヤレスマウスですので、入力操作の際ケーブルが邪魔にならないといった煩わしさがなく、快適な環境でのコンピュータ操作が可能となります。本製品は、レシーバーとマウスを充電ケーブルで接続し、パソコンのUSBポートから充電できます。充電中でも使用できるから電池切れの心配がない、いつでも使えるワイヤレスマウスです。

本製品は、Windows標準ドライバで、スクロールやスクロールモードが使える簡単接続タイプのマウスです。

ご使用前にこのマニュアルをよくお読みください。また、お手元に置き、いつでも確認できるようにしておいてください。

警告

テレビ/ラジオの受信障害について

本製品は、FCCの定めるクラスBのコンピュータ機器に対する許容条件につき、所定の審査の上、FCC-15章の規定内容に適合するものとして認定されています。FCC-15章は居住環境において防止すべき受信障害の規制基準を定めたものです。が、装置の設置状況によっては受信障害が発生する場合があります。

ご使用のコンピュータシステムが受信障害の原因となっているかどうかは、そのシステムの電源を切ることで確認いただけます。電源を切ることで受信障害が解消されれば、ご利用のコンピュータ、あるいは、その周辺装置が原因であると考えられます。

ご使用のコンピュータシステムがテレビやラジオの受信状態に影響している場合、以下の手順のいずれか、あるいは、いくつかを組み合わせてお試しください。テレビまたはラジオのアンテナの向きを変え、受信障害の発生しない位置を探してみてください。

テレビまたはラジオから離れた場所にコンピュータを設定し直してください。テレビまたはラジオとは別の電源供給路にあるコンセントにコンピュータを接続してください。状況に応じ、テレビ/ラジオの修理業者またはマウスの販売店にもご相談いただけます。

注意

本製品に対し許可しない変更または加工が加えられた場合、FCCの許可が無効となり、正規の製品としての使用は認められませんのでご注意ください。

対応機種・対応OS

対応機種

Windows搭載パソコン
各社DOS/Vパソコン、NEC PC98-NXシリーズ
Apple iMac、iBook、Power Mac G5/G4/G3シリーズ
USBポート(Aタイプコネクタ)を持つ機種。

対応OS

USB接続:Windows XP・2000・Me・98SE・98及び
Mac OS X(10.2以降)

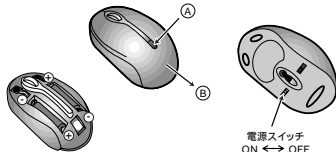
Mac OS X(10.2以降)は、標準インストールされているInternet Explorer、Mail、テキストパッド及びFinderなど、OS標準ドライバでスクロール可能なアプリケーションでのみスクロール可能です。またホイールボタン押下げによる動作はサポートしません。

機種により対応できないものもあります。

この文章中に表記されるその他の製品の製品名などは、それぞれのメーカーの登録商標、商標です。

マウスの準備(電池の入れ方)

1. マウス上面の電池カバーボタン(A)をカチッと音がするまで押します。
2. ボタンカバーを手前にスライドして(B)、ボタンカバーを取り外します。
3. 付属の電池をマウスに入れます。電池を入れる際、電池の方向に注意してください。(下図参照)
4. ボタンカバーを取り外したとは逆の方向にスライドさせ、取り付けます。
5. マウス裏面の電源スイッチをONにします。
長時間マウスを使用しない場合やマウスを持ち歩く際などに、光学センサーが点灯している場合や電池が消耗しますので、電源をOFFにする事をお薦めします。
注意
電池には付属の充電電池をお使いください。アルカリ/マンガン電池を使用すると充電しますと、マウス等が壊れます。



3

マウスの接続(USB接続の場合)

本製品をUSBポート接続する際の注意(Windowsの場合)

本製品はWindowsにおいて自動認識され、使用可能となります。まず初めてUSBインターフェイスが正常に動作しているかどうかをチェックしてください。

「スタート」→「設定(S)」→「コントロールパネル(C)」→「システム」の順に選択し、「デバイスマネージャ」タブをクリックしてください。「ユニバーサルシリアルバスコントローラ」をチェックしてください。下の画面が表示されます。



これはUSBインターフェイスの正常な動作状況です。
USBデバイスアイコンに「！」マークが表示されていたり、または「ユニバーサルシリアルバスコントローラ」のデバイスがなにも見つからない場合、マザーボードのBIOSをアップグレードしたり、BIOS設定を確認してください。
一部の機種ではデフォルトの状態ではUSBポートの使用が不可に設定されています。また「ユニバーサルシリアルバスコントローラ」のベンダー名、デバイス名はマザーボードによって異なることがあります。インテル社以外の記述の際もありませんので、本体(マザーボード)メーカーにサポートしてもらってください。

BIOS上でUSBがdisable(無効)になっている場合(Windowsの場合)

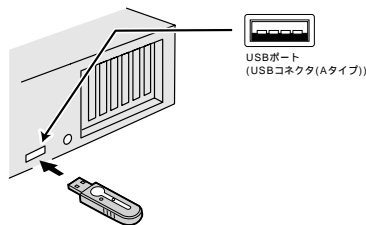
BIOS上のUSBをenable(有効)にしてください。
通常BIOSの設定はコンピュータ起動時にF1がF2を押すものが多いですが詳細な設定については、コンピュータ本体のマニュアルをご覧ください。

4

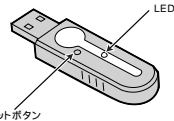
マウスの接続(USB接続のつづき)

USBポートによる接続(Windowsの場合)

注意: マウス用レシーバーを接続する前に他のアプリケーション(ウイルス検索ソフトなどの常驻ファイル)を終了させておくことをお薦めします。
コンピュータの電源を入れ、Windowsを完全に起動します。
レシーバーをコンピュータのUSBポートに接続します。



レシーバー



5

マウスの接続 (USB接続のつづき)

自動的にハードウェアの検知が始まり、デバイスドライバを更新するためのウィザードが起動します。
あとは、画面の指示に従ってインストール作業を進めてください。

Windows XP・2000・Meは、下記インストール方法と多少異なり、タスクバーに「新しいハードウェアが見つかりました。」「使用できる準備ができました。」と表示されて、自動的にインストールが完了します。

新しいハードウェアの追加ウィザード



新しいドライバを検索しています。
USBヒューマンインターフェイス
デバイス…… 次へ



検索方法を選択してください。
• 使用中のデバイスに最適なドライバ
を検索する(推奨) …… 次へ



新しいドライバはハードドライブのデータ
ベースと、次の選択した場所から検索
されます。
チェックボックスにチェックマーク(✓)
を入れない …… 次へ
もし、検索場所を聞いてきたら、
✓ 検索場所の設定(L)

C:\WINDOWS\INF
もしくは、
C:\WINDOWS\OPTIONS\CABS

もし、上記の検索場所で見つからない場合は、CD-ROM
ドライブにWindows Me等のCD-ROMを挿入し、✓ CD-ROMドライブ
(G)にチェックを付けてください。

6

マウスの接続 (USB接続のつづき)



次のデバイス用のドライバファイルを検索します。
USBヒューマンインターフェイス
デバイス …… 次へ



USBヒューマンインターフェイス
デバイス…… 完了

接続が完了したら、ID設定方法(9ページ)へ。

USBポートによる接続 (Mac OS Xの場合)

コンピュータの電源を入れ、Mac OSを完全に起動します。
レシーバーをコンピュータのUSBポートに接続するだけで接続を完了します。
接続が完了したら、ID設定を行います。(9ページへ)

Mac OS X(10.2以降)は、標準インストールされているInternet Explorer、
Mail、テキストパッド及びFinderなど、OS標準ドライバでスクロール可能な
アプリケーションでのみスクロール可能です。またホイールボタン押下げに
よる動作はサポートしません。

マウスの接続 (電池の充電)

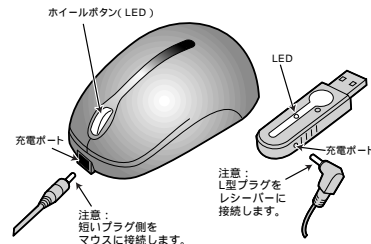
レシーバーの接続が完了したら、電池を充電してください。

レシーバーとマウスを充電ケーブルで接続して、パソコンのUSBポートから充電します。

1. マウスに充電ケーブルを接続します。(短いプラグ側を接続)
2. レシーバーに充電ケーブルを接続します。(L型プラグ側を接続)
3. マウスのホイールボタンのLEDランプが緑色に点灯し、充電が開始されます。
4. 充電時間は、環境によって異なりますが、電池が完全に空の状態の場合、約8時間です(マウス電源スイッチをOFFにした状態で)。
充電中でもマウスを使用することはできますが、その場合充電時間は長くなります。
5. 充電ケーブルをはずして、マウスの電源スイッチをONにして、ワイヤレスマウスとしてご使用ください。
6. ワイヤレスマウスとしてご使用中、レシーバーのLEDが赤点灯したら、電池残量が少なくなっていますので速やかに充電を開始してください。
パソコンのUSBポートから充電しますので、充電中はパソコンのUSBポートから電源が供給できる状態にしておいてください。

マウス

レシーバー



(9ページ IDの設定方法の図を参照)

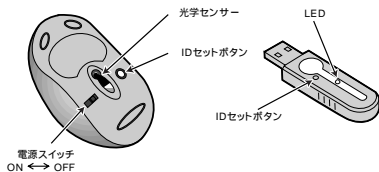
7

8

IDの設定方法(場合により設定)

マウスの充電が完了したら、マウスを動かしてみてください。
これでマウスは使えるようになります。その場合は、ID設定を行う必要はありません。

もし、動作がスムーズでなかったり、動作しなかった場合、また近い環境で本品を2台以上お使いの場合は、下記の手順に従ってID設定を行ってください。



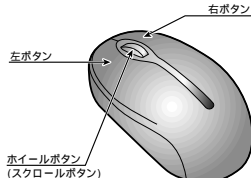
ID番号を設定する前に(マウスの裏面の光学センサー)が点灯していることを確認します。

もし点灯していない場合は、(電源スイッチ)がONになっているかを確認します。それでも点灯しない場合は、充電してみてください。

1. ペン先等を使って(レシーバー)のIDセットボタンを押します。
 2. (レシーバー)のLEDが点滅します。
 3. (レシーバー)のLEDが点滅している間に(マウスのIDセットボタン)を押します。
 4. (レシーバー)のLEDが消灯したら、ID設定は完了です。
 5. マウスを動かした際、(レシーバー)のLEDが点滅します。
- IDは1-256通りあり、自動的に設定されます。2台以上のマウスを有効使用範囲内でご利用の際に、マウスの動きがスムーズでないといった場合には、このID設定を再度行ってください。
- パソコンの電源を立ち上げ直した場合、もしくはマウスの電源スイッチをON・OFFした場合でも、この設定を再度行う必要はありません。

本製品の使用方法

本製品にはホイールコントロール(ホイールそのものが回転し、スクロールなどの操作が行えます。)機能が付いており、マウスから直接スクロールすることができず、Windows上でよりマウス操作が楽に行えるようになります。本製品は、Microsoft IntelliMouse 互換機能を持っていますので、MS-OFFICE 97のようにIntelliMouse機能をj持っている場合であれば、幅広いナビゲーション(スクロール、オートスクロール、ズームなど)が行えます。



左ボタン・右ボタン

左ボタンには通常クリック、ダブルクリックに使われます。また右ボタンはWindowsでのアプリケーションごとに設定されているマウスの動きも行いますが、またポップアップメニューの表示もすることができず、左利きの人などは「マウスのプロパティ」の中「ボタンの選択(B)」で、お好みに合わせて変更可能です。

ホイール(スクロール)

インターネットやWindows上のドキュメント画面をスクロールさせる際、このホイールを前後に回転させて使います。

ホイールボタン(スクロールボタン)

インターネットやWindows上のドキュメント画面でスクロールモードを使用する際、このボタンをクリックしマウスを前後左右に少し動かすと自動的に画面がスクロールします。このスクロールを止めるには、ホイールボタンをもう一度押してください。

ズーム

ズームはMicrosoft IntelliMouse の通常機能ですので、MS-OFFICE 97用のアプリケーションに対応しています。「ズーム」とはウィンドウ内の倍率を変えることです。「Ctrl」キーを押しながらホイールを回転させると、ズームが簡単に行えます。

- 「Ctrl」キーを押しながらホイールをモニター方向に回させると、倍率が上がります。
- 「Ctrl」キーを押しながらホイールを手前方向に回転させると、倍率が下がります。

ご使用上の注意

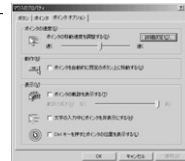
本製品は内部に光学式センサーを使用しているため、マウスを急に動かした場合に追従速度が低下し、マウスカーソルがスキップバックするといった現象が発生する場合があります。その際は、以下の設定を行ってください。

WindowsMeで本製品をお使いになる場合

「コントロールパネル」→「マウスのプロパティ」→「ポインタオプション」。「詳細設定」の「ポインタの加速度(A)のチェックマーク(✓)」を外してください。(Windows 2000の場合は「マウスのプロパティ」の「動作」の中にあります。

WindowsMe/98SE/98でご利用の場合

ポインタの速度(S)を中間より遅い速度の設定にして使用ください。



「故障かな...と思ったら」

- Q. マウス(マウスカーソル)が動かない。
- A. 1. マウス裏面の光学センサーが光っていない場合、電池が正しく挿入されているか確認してください。マウスの電源スイッチがOFFになっていないか確認してください。(9ページ参照)
2. レシーバー及びマウスのIDが正しく設定されているかどうか確認してください。(設定方法は9ページ参照)
3. 光学センサーが光らない場合、電池の残量が空になっているかも知れませんので、充電してみてください。
4. レシーバーをパソコン背面に直付けしている場合、別売りの延長ケーブル(KU-EN1等)を使って、レシーバーを見える位置へ出してください。

- Q. マウスをしばらく操作しないと、動き始めた際に少し時間がかかる。
- A. 本製品は、電池の消耗を押さえるため、しばらくマウス操作を行わないとスリープモードに入ります。マウスを動かすと復帰しますが、ほんの少し時間がかかります。すぐに復帰させたい場合は、右ボタンなどをクリックしてください。

「故障かな...と思ったら」(続き)

Q.マウスカーソルの動きがスムーズでない。

- A. 1.光を反射する素材、ガラスなどの透明な素材の上や、規則正しいパターンの上でご使用の際は、トラッキング性能が低下しますので、避けてください。
- 2.他のワイヤレスマウスと混信している場合がありますので、チャンネル及びID番号の設定をやり直してみてください。
- 3.レシーバーとマウスの距離を調整してみてください。レシーバーとマウスの距離は、0.2m～1mの間でご使用ください。
- 4.金属面の上では、ワイヤレス信号が乱反射し、スムーズに動かない場合がありますので、新聞やマウスパッド等の上でご使用になってください。
- 5.ノートパソコンでご使用の際、片手をノートパソコンの上に置いてマウスを操作すると、このような現象が現れる場合がありますので、その手をノートパソコンの上から取り除いてみてください。
- 6.レシーバーをパソコン背面に直付けしている場合、別売りの延長ケーブル(KU-ENI等)を使って、レシーバーを見える位置へ出してください。

Q.Windowsのディスプレイモードに出ているツールカラーを選択するとスクロールの動きがおかしくなった。

- A. 1.ハイカラーモードを選択してください。
- 2.ツールハイカラーでは、CPUからデータを伝えるのに時間がかかります。このため、スピードコントロールの動きが速くなるのです。

保証規定

- 1)保証期間内に正常な使用状態でご使用の場合に限り品質を保証しております。万一保証期間内で故障がありました場合は、当社所定の方法で無償修理いたしますので、保証書を商品に添えてお買い上げの販売店までお持ちください。
- 2)次のような場合は保証期間内でも有償修理になります。
保証書をご提示いただけない場合、あるいは字句を書き換えられた場合、所定の項目をご記入いただけない場合、あるいは字句を書き換えられた場合、故障の原因が取り扱い上の不注意による場合、お客様による輸送・移動中の衝撃による場合、天災地災、なごりに応着や異常電圧その他の外部要因による故障及び損傷。
- 3)お客様ご自身による改造または修理があったと判断された場合は、保証期間内での修理もお受けいたしかねます。
- 4)本製品の故障、またはその使用によって生じた直接、間接の損害については当社はその責を負わないものとします。
- 5)修理ご依頼品を郵送、またはご持参される場合の諸費用は、お客様のご負担となります。
- 6)保証書は再発行いたしませんので、大切に保管してください。
- 7)保証書は日本国内においてのみ有効です。